

教科書はだれのもの

教科書と教育を考える千葉県民の会

【新しい小学校の教科書はどんな内容？】

○全ての教科書にQRコードが！

- ・「教育出版」6年生 社会科では、防衛省の子ども向け「防衛白書」にアクセス

○内容はボリュームアップ！

- ・6年間で使う教科書の平均ページ数が現行より 10%増加
- ・5, 6年生の 英語は単語数が増加（825単語、東京書籍）
→ 学力格差、教師の負担増

タブレットの濫用

- ・ネット依存にならないか
- ・メディアリテラシーが身につかないのでは？

○社会科

- ・自衛隊がいたるところに
自然災害だけでなく、「平和主義」のページにも
「日本の平和と安全を守るため、自衛隊の役割は重要です」

・領土問題

- 「日本 固有の領土である北方領土や竹島」（日本文教出版）
- 「竹島は韓国に 不法に占拠され」（東京書籍）



【「教科」になった道徳の教科書について】

○道徳は小学校で2018年度、中学校で2019年度から「特別の教科」として評価される教科になりました。

「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」など4つの観点、さらにそれぞれに「節度、節制」「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」など22項目が設けられ、各学年ごとに教科書が作られています。しかし、そもそも「教科」は学問的な裏付けのもとに作られるものであり、道徳を「教科化」することは、科学的根拠を持ちません。結果的に政府や社会にとって望ましい人材育成になるおそれがあります。また、内心に立ち入ること子どもは忖度を学ぶ危険があります。

【政府の介入による教科書の訂正】

○検定済、採択中の中学歴史、高校地歴公民教科書が変えられた

2021年 日本維新の会の馬場幹事長（当時）が提出した質問書への政府答弁書（政府見解）に基づいて、文科省による教科書会社への「訂正申請」の強要

訂正前：「従軍慰安婦」 → 訂正後：「慰安婦」

訂正前：「強制連行」 → 訂正後：「徴用」

Q：「訂正の圧力ではないか？」

文科省：「訂正勧告という制度についてはご承知のとおりですよね、と言ったが圧力ではありません」（映画「教育と愛国」より）

○異例の教科書訂正が小学校教科書にも影響？

・東京書籍6年社会コラム「戦争と朝鮮の人々」の記述変更

変更前：「多数の朝鮮人や中国人が強制的に連れてこられて」

→ 変更後：「強制的に動員され」

変更前：「兵士となった朝鮮の若者たち」

→ 変更後：「志願して兵士となった朝鮮の若者たち」